



頌
春

いいまち
議会だより



エーコープ
継続できる地域店に

第88号 令和2年1月15日

発行：長野県飯島町議会

写真／広報委員会

P3

モニターのひとつ
あれどうなった
いいちゃんバス・桜再生プロジェクト
議会のハテナ？

P4

井戸端会議 10/11 住民懇談会
どうする自治会役員の負担軽減

P5

12月定例会
補正予算審議
地域の食を守るため
専決処分を承認



P6

総務産業委員会
会計年度任用職員に適正な評価を！

P7

社会文教委員会
七久保小放課後児童クラブ
「これは狭い」の第一声



P8

12月定例会
本会議・表決結果

P9

総務産業委員会
所管課と「テーマ」で懇談



P10

社会文教委員会
視察研修(西伊豆町・掛川市)

P22

町民の声を議会へ
～個☆楽しむこと・巻き込むこと～

町政を問う

ここが聞きたい

11 議員が質問

久保島 巖

町長2期目



目玉政策は何か …… P11

滝本登喜子

生涯学習



1つの部署で事業を …… P12

橋場 みどり

インクルーシブ教育



皆が支えあえる社会を … P13

中村 明美

地域ポイント制度



スピードある展開を …… P14

竹沢 秀幸

音楽村構想



進捗状況は …… P15

折 山 誠

2期目の基本施策



再選されどう向き合う …… P16

坂本 紀子

飯島駅前スーパー



存続するための方策は … P17

三浦寿美子

介護保険制度



改正反対の意思表明を … P18

浜 田 稔

教育・研究の衰退



地域の現状と対応は …… P19

好村 拓洋

町民アンケート



結果をどう考えるか …… P20

本 多 昇

公共施設用地



次世代負担軽減のため取得を… P21

「一般質問」とは
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

表紙の写真／飯島公民館にて書初め大会♪

議会だよりモニター のひとこと

87号広報紙面に対するご意見

- 表紙の目立つところにQRコードがあり、興味のある人にはすぐスキャンできて良い。
- 見出しは問題提起型のほうが良い。例、6ページ。
- 一般質問14ページ、4局部会とは何か。
4局部会＝建設水道課・総務課・住民税務課・地域創造課の各担当係
- 写真は大きくて、注意書き（吹き出し）もありわかりやすい。
- 写真・表など下のほうに割り付けられていて、文章の邪魔にならず良い。
- 写真はポイント的にカラーの導入でPRを。
- 10ページの写真にキャプションがほしかった。

その他のご意見・感想

- 定例の話題のポイントを、新聞のように漫画連載にしてみても。
- エーコープの存続はありがたい。町で補助したから、経営者にイメージチェンジ・経営努力をしっかりと求めてほしい。
- モニターの意見をできることから実行してほしい。

など、多くの政策提言がありました。すべてを町に伝えました。

追跡

あれ
どうなった

一般質問・審査での意見
請願陳情 その後のゆくえ

H28年3月 一般質問

いいちゃんバスの広域連携を…



R1年11月 バス停留所、駒ヶ根市にも設置

H29年6月 一般質問

「桜再生プロジェクト」で千人塚の観光づくりを…



R1年11月 桜植樹



議会のハテナ？



本会議の「審議結果」の
言葉の種類は？

- 人事案件 …… 同意・不同意
- 専決処分 …… 承認・不承認
- 決算 …… 認定・不認定
- 条例・予算 … 可決・否決
- 請願・陳情など
… 採択・不採択・趣旨採択



どうする自治会役員の負担軽減

本郷公民館・鳥居原集会所

昼の部・夜の部で14人参加

区・自治会・公民館の課題

1 加入

- ・定住者に、町が丁寧な説明をして欲しい。
- ・自治会がそれぞれ加入説明書を作り、促進する必要がある。

2 自治会費など

- ・軽減して欲しい。
- ・都会と比べてとても高い。

3 出役・なり手不足

- ・雪かき機の補助は加入・未加入で区別するべきでない。
- ・高齢者の出役の軽減

- ・区議員をやりたくない人も多い。
- ・体育部などは名前だけで会議の出席が悪い。
- ・10年後の役員のなり手が少ない。若い人がいない。

4 統合・規約

- ・自治会の合併を考えていく必要がある。
- ・飯島区の法人総会に、赤ん坊にまで投票権があることはおかしい。
- ・規約がない自治会もあるので、町は方向性を出して欲しい。



鳥居原集会所

少ないのは
台風のせいかな？

- ・本郷は戸数が少ないので、高齢者も作業してもらえないとできない。
- ・町道の草刈りや雪かきは税外負担ともいえる。都会では行政がやっている。
- ・広報などの配布準備に時間がかかる。
- ・あて職の仕事は減らして欲しい。
- ・役場提出書類のアドバイスと簡素化をして欲しい。
- ・自治会長に関わる会議が多い。
- ・自治会などの要望・意見が役場の各部署に的確に届いていない。

- ・自治会は住民のためにあるので、規約など明文化せずとも、今いる人達が出来ることをすればいいのではないかな。

4 神社・寺

- ・御柱など移住者と一緒にやることで、わだかまりも消える。
- ・地域の行事のマニュアルがあると継続する。
- ・神社費は企業からも集めては。
- ・寺の運営は自治会で決めることではない。

町の政策全般

1 つながり・人材育成

- ・仲良くやっていこうの声かけが大事。意識改革が必要。
- ・住民はE S D（持続可能な社会づくりの人材を育成するための教育）を勉強すればよい。
- ・大学生と定期的な交流をする。
- ・人材バンクの登録と活用を活発にする。
- ・行政間のつながりを密にする。

2 観光

- ・伊那市にある知多市野外センター・下條村の刈谷市休暇村のような施設を招致したらどうか。
- ・「空気が良い・中央アルプスが美しい」ことをもっとPRすればよい。
- ・観光振興に時間をかけてでも取り組み、町にお金の落ちる仕組みを作る。

3 都市計画・森林

- ・フルート工場ができることで、周辺の交通状況が変わる。う回路など安全の確保を。
- ・土砂水害がおきないように、早急な森林整備を。



本郷公民館

12月定例会 補正予算審議

地域の食を守るため専決処分を承認

12月定例会は12月5日から17日までの13日間開催されました。人事案件1件、条例案件9件、と令和元年度補正予算案10件が上程されました。補正予算は本会議において即決し、請願案件1件は常任委員会に審査を付託しました。審査内容と議決結果はP6～8をご覧ください。

人事案件

- ◇固定資産評価審査委員の任命（再任）

条例審査

- ◇会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
- ◇町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

補正予算

- ◇一般会計（第5号専決・第6号専決・第7号）
8830万円を増額し、総額51億5244万円に

主な財源

- | | |
|--------|--------|
| ・町税 | 500万円 |
| ・基金繰入金 | 3500万円 |
| ・国庫支出金 | 967万円 |
| ・県支出金 | 974万円 |
| ・寄付金 | 330万円 |
| ・町債 | 2200万円 |

主な支出

- | | |
|---------------|--------|
| ・JA上伊那補助金 | 3960万円 |
| ・障がい者給付費 | 1934万円 |
| ・与田切公園改修工事 | 348万円 |
| ・海外派遣国際交流事業基金 | 510万円 |
| ・ふるさと応援基金 | 300万円 |
| ・融雪剤 | 260万円 |
| ・給与等増額改定分 | 543万円 |

- ◇国保特別会計（第3号）

624万円増額し、総額9億7257万円に

- ◇後期高齢者特別会計（第2号）

130万円増額し、総額1億3854万円に

- ◇介護保険特別会計（第3号）

20万円増額し、総額11億6265万円に

- ◇公共下水道特別会計（第2号）

344万円増額し、総額4億3521万円に

- ◇農集排特別会計（第2号）

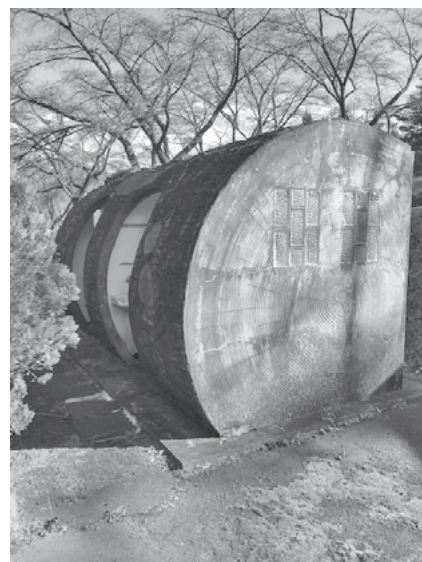
予備費150万円の組み替え（人件費に）

- ◇水道事業会計（第2号）

人件費に13万円増額

人事院勧告に伴う議案

- ◇条例改正
 - ・町特別職給与条例の一部改正
 - ・町一般職給与条例の一部改正



与田切公園の撤去されるトイレ



明るく広くなった店内（エコープ）

会計年度任用職員に適正な評価を！

付託された条例案件3件と、請願1件を審査しました。

条例審査

採 択

◇町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

賛成5 反対0

任用区分表

職 種	給 与	勤務時間
I 種	月額(給料)	常勤職員と同じ勤務時間
II 種	月額(報酬)	常勤職員より短い勤務時間
III 種	時給(報酬)	常勤職員より短い勤務時間

問 正規職員とI種が同じ勤務時間だが、仕事内容は各課で違うのか・統一か。

答 職の整理をしている。基準は正規職員。常勤がする仕事以外は非常勤・臨時・嘱託の任用。

今の臨時・嘱託職員の仕事は、事務補助と専門的な要素を加えた内容で任用している。

今後は、会計年度任用職員に移行となる。

問 臨時の保育士をII種に繰り上げることはできるのか。また、今後の区分けや呼び方は。

答 保育士のII種移行は、1日7.5時間勤務できる人を考えている。

呼び方は課題だが、今の段階ではI種・II種・III種だ。

問 年度ごとの採用となるが、継続採用と公募の考え方は。

答 再度の任用は、一般事務等の会計年度任用職員は3年まで、専門職等は5年まで任用。翌年もその職が必要か判断して任用となる。

問 昇給・昇格の出発点はどこか。

答 別に定めるが、内規で経験などを考慮。III種は固定だが給与改定に伴い変動がある。I種・II種は別の規則で昇給を行う。65歳以上の昇給はない。

討 論

賛成 公務員の非常勤化を公認した意味では、今回例外措置となった。悪い意味の例外措置とならないよう、運用に最善の配慮と透明性をもって行うことを求める。

採 択

◇町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

賛成5 反対0

問 正規職員との違いは。

答 育児休業を取れる期間が違う。正規職員は子どもが3歳まで取れる。会計年度任用職員は最長2歳まで。

2歳までとる場合は、特別な事情があるか、引き続き任用されるという担保が必要。

問 子どもは実子だけが対象か。

答 対象は自分の子ども・養子縁組している子ども・将来養子縁組見込みの里子。

討 論

賛成 改正で、働く人が安心できる制度である。

採 択

◇町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

賛成5 反対0

問 企業会計にするメリットはあるが、職員は複式簿記の知識が必要となる。大丈夫か。

答 研修中だ。水道会計の知識があるので連携する。

問 上水道システムソフトがあるが活用するのか。

答 情報センターのシステムを導入した。最初の仕分け作業は大変だが2年目以降は楽になる。

問 公共下水と農集排水会計の一本化の見通しは。

答 できるところは一本化し、施設管理も効率化を図る。

討 論

賛成 複式簿記での管理は適正。民間委託のないように経営を透明化し、適正な運用を求める。

請願審査

◇免税軽油制度の継続を求める

提出者：株式会社伊那リゾート

代表 白澤 裕次氏

賛成5 反対0

◆内容 令和3年3月末で、廃止される状況にある軽油引取税課税免除特例措置の継続を要請する意見書の提出を求める。

討論

賛成 時限立法のため、廃止になるとスキー場の観光産業が経営困難となる。県内の企業や農業でも恩恵を受けている。

政府に対して引き続き継続する意見書を提出すべき。



圧雪車

現場調査 12/12

社会文教 委員会

「これは狭い」の第一声 七久保小放課後児童クラブを視察

「手狭になっている」と訴えのあった七久保小学校の放課後児童クラブを視察しました。

個人懇談の日で、既に1・2年生が入室していました。満席状態で、我々が入室すると身動きもしづらい位でした。

放課後児童クラブは、年々登録者数が増えて60人となり、常時利用者も平均20人以上です。

次年度は更に増えるそうです。建設当時は理科準備室で、大きな棚が壁の両側に設置されており狭さの要因です。不用な片側3台の棚を除去することで、もう少し広く使えると感じました。

順次入室してくる3年生以上は、隣の図書館で宿題をしていました。

放課後児童クラブを利用する明るく活発な児童の様子や、充実したクラブ運営を視察し、この

有効な子育て支援策の充実を進めたいと感じました。



宿題に取り組む児童

12月定例会 本会議表決結果

人事・条例

※議案の採決は、堀内議長を除く11人で行います。

議案名	議決日	注記	賛成	反対	審議結果
固定資産税評価委員の選任	即決	再任	11	0	同意
一般職員の給与条例の改正	即決	人事院勧告に準ずる	11	0	原案可決
特別職の給与条例の改正	即決	人事院勧告に準ずる	11	0	原案可決
会計年度任用職員の給与などの条例	最終日	総務産業委員会付託審査 P6	11	0	原案可決
職員の育児休業などの条例の一部改正	最終日	総務産業委員会付託審査 P6	11	0	原案可決
基金条例の一部改正	即決	海外派遣国際交流補助基金	11	0	原案可決
手数料条例の改正	即決	値下げとなる	11	0	原案可決
使用料条例の改正	即決	値下げとなる	11	0	原案可決
災害弔慰金支給条例の改正	即決	法律改正に伴う改正	11	0	原案可決
水道事業設置条例の一部改正	最終日	総務産業委員会付託審査 P6	11	0	原案可決
印鑑証明条例の一部改正	即決	最終日追加議案	11	0	原案可決
町長の給料の減額の条例	即決	最終日追加議案	11	0	原案可決

令和元年度補正予算

一般会計(第5号)専決	即決	JA上伊那補助	11	0	承認
一般会計(第6号)専決	即決	与田切公園に関わる賠償金	11	0	承認
一般会計(第7号)	即決	主に給与改定など	11	0	原案可決
国民健康保険特別会計(第3号)	即決	主に給与改定など	11	0	原案可決
後期高齢者医療特別会計(第2号)	即決	主に給与改定など	11	0	原案可決
介護保険特別会計(第3号)	即決	主に給与改定など	11	0	原案可決
公共下水道事業特別会計(第2号)	即決	主に給与改定など	11	0	原案可決
農業集落排水事業特別会計(第2号)	即決	主に給与改定など	11	0	原案可決
水道事業会計(第2号)	即決	主に給与改定など	11	0	原案可決

請願審査決議

(株)伊那リゾートから提出 免税軽油制度継続を求める請願 紹介議員 中村明美	最終日	総務産業委員会審査 P7	11	0	採択
--	-----	--------------	----	---	----

※注 郵送による陳情は基本的に議案にならず文書配布されます。

意見書提出決議

免税軽油制度継続を求める意見書	最終日	竹澤秀幸 提出	11	0	採択
-----------------	-----	---------	----	---	----

所管課とそれぞれの「テーマ」で懇談会を開催しました。

主な内容

総務課 5/22

「防災」ほか

問 地震時の自主防災会長との連絡体制は。

答 デジタル簡易無線を使用して
いる。運用面で課題がある。

問 避難情報発令基準は。

答 改定して対応する。気象庁と
も連携を検討。

問 総合ハザードマップの見直し
は。

答 土砂災害警戒マップを、伊那
建設事務所で再調査する。

産業振興課 6/19

「新井用水」ほか

問 新井用水の改修は。

答 県は実施すると言っている。
優先順位がある。

* 9月補正で、機能診断調査業務
600万円の県補助金確定。



改修を待つ新井用水(2018)

問 エーコープ飯島の状況は。

答 現時点では判断できない。町
の灯は消したくない。経営者と理
事者で話し合う予定だ。

* 10/25専決処分で補正3960万
円JAに補助。

問 道の駅田切の里の状況は。

答 食堂の新規開店から2か月、
売り上げは順調だ。6月から協力
隊員が入りイベントなどを企画す
る。

問 伊南バイパス開通に伴う商業
への影響は。

答 特売広告の補助金・イベント
で効果があった。

問 商店の担い手がいらないが。

答 アンケートをとる。

問 JA上伊那の改革の影響は。

答 JAのいくつかの施設が撤退
するが、農家に支障が出た場合対
応する。

問 木質バイオマス発電の進捗は。

答 工場の場所が決まらない。発
電所は飯島に造りたい。

地域創造課 7/23

「観光」ほか

問 観光戦略は。

答 観光戦略会議を開催して、与
田切公園から坊主平・御座松・千
人塚公園・シオジ平までを観光拠
点に考えている。

建設水道課 11/18

「災害時の対応」ほか

問 町には給水車がないが、どう
対応するのか。

答 配水拠点で給水する。水道協
会に協力要請し、給水袋で対応す
る。

問 地震があった場合、水道水は
どうなるか。

答 配水池は常時満タンにしてお
り、24時間は対応できる。

問 危険個所が多い高遠原の土砂
崩れ時の避難所は。

答 集会所から、林業センターと
松川側に避難するよう変更した。
マップも作成中である。

問 災害協定は何を結んでいるか。

答 建設防災協会と災害時におけ
る応急措置の協定。

復旧資材は、県長野市町村災害
応援協定を結んでいる。

問 立木・電柱のそばの支障木な
どの処理・見回りは。

答 見回りは地権者をお願いして
いるが、なかなか進まない。

問 町内にある電柱のメンテナン
スを中電から報告を受けているか。

答 確認していないが、今後打ち
合わせの中で確認する。古い電柱
は取り替えているようだ。

静岡県西伊豆町と掛川市を訪問し、視察研修を行いました。

西伊豆町

西伊豆町は、大手進学塾「Z^{ゼット}会」の通信教育を活用し、小中学生の国語力向上を図っています。静岡県が全国順位で国語力が低い状況にあることがきっかけで、始まった取り組みです。

月1回の「通信ドリル」を提出させ、Z会のノウハウで添削・分析して、個人ごとの弱点などを担任に返すシステム。これにより、児童個々の指導に役立てることができ、学力向上の効果が出ているということです。

西伊豆町内では広がっているものの、静岡県内に広がっていないのはハードルが高いからか。先生方の意識変革やデータをどう生かすかの技量も必要になってきます。

掛川市は、昭和54年から「生涯学習のまちづくり」に取り組んでいます。当時の市長が「まちづくりは市民の力・地域の力で進めるもの」との視点から、生涯学習による「ひとづくり」を始めました。

社会人向けの生涯学習講座を、4つの授業（計30回）で構成しています。

- ①地域づくり実践者による講座
- ②グループ実践
- ③市内名所・施設廻り
- ④企画進行できるノウハウ取得などが学ばれています。

この結果32地区で「まちづくり協議会」が活動し、独自の長期計画を策定、地域課題に取り組んでいます。

掛川市

中には「生活支援車運行」「何でも手伝い隊」の事業実施地区もあります。

掛川市まちづくり協働センターが、各協議会の取り組みをまとめた活動事例集の小冊子を配布し、仲間づくりや参考資料としています。また、活動発表会も開催され、まちづくりのヒントが満載の報告書も発行しています。

「自分たちの地域は自分たちで守り・育む」という崇高な心があふれていました。

ここまでになるには、一朝一夕にできたものではなく、長い間「生涯学習はひとづくり」の施策の賜物であると感じてきました。



学力向上対策をたずねる（西伊豆町）



まちづくりはひとづくり（掛川市）



久保島 巖

町長2期目

目玉政策は何か

5つの目標25の施策
町長

問 町長は2期目のマニフェストで多くの政策を掲げた。今期の目玉事業は何か。

町長 5つの政策目標を挙げ、そこに25の施策を立てた。

「森林や田園風景の静寂さの中にも強靱で快適な生活基盤のある町へ」が目指す姿だ。

少子化対策には、子育てと仕事が両立できるシステムが必要だ。産業界の理解の中で、文明社会の産業革命を起こしたい。

高齢化対策では、経験・知識・技術を地域社会に生かしてほしいと考える。

「私はこんなことができる」

「助けて欲しい・手を貸して」という両方が情報交換できるプラットフォームの構築を進めたい。

若者が町に戻ってくるためのしっかりした産業を作りたい。「アグリイノベーション2030」を提唱。

森林資源を生かし、有効活用を図り、農業にも使いたい。

町のイメージはスローライフや癒しの世界だ。世界に冠たる発酵食品や楽器メーカーがある。更に広げたい。

行政改革は一人ひとりの心の改革だ。地域の改革は、地域の方と相談しながら進めたい。

問 1期目肝いりの「飯島町営業部」の今後は。

町長 現在120人で5つのグループに分かれて活動している。

最近ヤマト運輸との提携を結んだ。地域の安全と町の産物を都市に向けて販売していこうという具体的な動きだ。

伊南DMOが来年から本格スタートする。それに先行して、地域資源を掘り起こし・磨いて、発信してきた。

今後も活躍してほしい。

問 第6次総合計画の策定作業が始まるが、町長の思いと地域計画との調整はどうか。

今の手法で真の地域計画ができると考えるか。

企画政策課長 町長の考えを含む行政の取り組みと、地域の取り組みを体系として整える。

従来以上に連携が可能だ。

生涯学習でひとづくりを

問 社会文教委員会で、静岡県の掛川市を視察した。ここは「生涯学習はまちづくり」という取り組みを長年行い、地域の活動が活発だ。生涯学習でひとづくりをしており、リーダーが育っている。

ひとづくりのため「大人の学習の場＝(仮)越百大学」の通年開催を提案する。

町長が目指す「営業部」の充実や「御助隊」^{おたすけたい}の構築にも有効と考えるがどうか。

町長 まちづくりにはリーダーが必要という認識は共有だ。

まちづくりには地域のやり方がある。「営業部」は生涯学習を経て、まちづくりにその力を使いたいと集まっている。頑張っている人を応援してほしい。

問 応援するために、ひとづくりが重要だ。継続したまちづくりには、新たな人材の育成が必要だ。その後に区会と地域づくり委員会の分離を行うべきだ。

町長 現在は4区とも区長が地域づくり委員長を兼務。地域にとってどのような形が良いか議論して貰いたい。町は議論の支援をしていく。

〔以上2件質問〕



掛川市のまちづくり協議会報告書



滝本 登喜子

生涯学習

1つの部署で事業を

各課連携で
町長

問 静岡県掛川市では「ひとづくり」は「まちづくり」と一体であるとして、生涯学習推進課で施策を進めている。

当町は、教育委員会生涯学習係と地域創造課地域係が担っている。1つの部署とする考えは。

町長 現時点では1つにする考えはないが、あらゆる活動は地域を学び・知り、その成果を生かしていくことが大切。

所管部署の連携を強化し進める。

問 「いいちゃん文化祭」にまちづくりの団体の発表の機会を。

また、各種グループの紹介が

イド作製を求めるが。

教育長 文化・社会教育は、まちづくりやさまざまな団体の活動の根幹にあり、文化祭の名のもとに参加してもらっている。

名称も含めてイベントのより良い在り方・時代に合わせた対応など検討できれば良い。

まちづくり・ボランティア・各種団体の紹介ガイドは、関係部署と相談したい。

町長 今のままの文化祭ではなく、これを通じて愛郷心の醸成の場を作りたい。町の産業から文化まで、いろいろ見られる場が必要だと考える。

問 「人材ネットワーク」の利活用が進んでいないが課題は。

教育長 生涯学習センターでは、その道の名人・達人・指導者などを登録してもらうことが目的。

小学校などから外部講師などの問い合わせが年に数件ある。

課題は、登録者同士の横の連携が必要だができていない。

問 「生涯学習推進計画パート5」の取り組みは。

教育長 体系図は、掛川市のもと同じ図である。学習プログラムの講座はまちづくりに直結するタイプはない。共通の趣味の人が学習している講座が主だ。

計画では、そのグループが地域に還元する活動を望んでいるが、現状は難しい。

問 「人材ネットワーク」と「いいじま御助隊」の関わりは。

町長 お互いが頼ったり助け合ったりの社会を作りたい。町全体・地域ごとの情報を、気軽に交換できる社会が成熟した総合事業の形かと思う。

1つの課題は、複数の課にわたり、課にも関わる団体がある。

その人たちと御助隊も連携し解決していく。

問 公民館の役職員の研修参加者が減っている。対策は。

教育長 研修会は年1回開催している。今年度は、研修の講師や内容の良さを館長や主事を通じて部員に伝えてもらった。各館で周知に努めたところ、40%と例年並みに回復した。

研修の内容を吟味し、意義をしっかりと伝えて参加の呼びかけを行いたい。

問 各区の公民館での研修会開催を提案するが。

教育長 担当者とも話をしながら考えていきたい。

〔以上1件質問〕



今日も活躍！ いちいの会でのおやつづくり

インクルーシブ
教育

皆が支えあえる社会を

社会的理解を進める 町長



橋場 みどり

問 共生社会に向けインクルーシブ教育*が進められている。誰もが分け隔てなく生きられる共生社会は、皆が一緒に学ぶ教室からこそ生まれるものだと思う。

町はどのように取り組んでいるか。

*インクルーシブ教育は、障害のある者とない者が共に学ぶことを通じて、共生社会に貢献しようという考え方

教育長 特別支援教育推進を柱に据えて取り組んでいる。

1. 学校・教育委員会・医療・保健・福祉が連携。
2. 障害のある子ども、ない子どもの交流。
3. 子どもたちが共に活動する姿をみて、保護者の障がい者理解を深めてもらう。

問 合理的配慮を町はしているのか。

教育長 障害を持っている子どもが、一般的な教育制度から排除されないために、合理的配慮は必要。

個別に必要な配慮が行われ、他の子どもたちとの学習活動に参加が可能になる。

学校・保護者と相談しながら配慮していく。

問 特別教育支援員はどのように関わっているのか。

教育長 1年生の入学時は、障害がある・なしに関わらず落ち着かない。

支援員は、児童に寄り添いアドバイスをしている。授業中に出て行ってしまう児童や、授業中に登校する児童たちを温かく迎え、つきっきりで支援している。

問 保護者からの相談や、情報提供などの対応は。

教育長 基本的には保護者の希望が第一。その子にとってどんな居場所・教育方法がいいのか丁寧に相談しながらやっている。

問 インクルーシブ教育はつき詰めれば、皆が支え合える社会にしようということだ。社会の大きな変化の中、町の教育の将来像をどう描いているか。

町長 学校におけるインクルーシブ教育は、障害のある子どもの教育の充実を図ることであり、重要な役割を果たすと考える。

総合的な支援・人権面での社会的理解を進めていきたいと思う。

家族介護者支援の充実

問 入院すると、家族介護者の紙おむつ負担が増える。

給付枠を広げることを求めるが。

健康福祉課長 来年度予算はこれからなので検討していく。

〔以上2件質問〕



個別への配慮

出典：障害保健福祉研究情報システム



中村 明美

地域ポイント制度

スピードある展開を 情報発信の強化に努める 町長

問 健康ポイントの推進状況は。

町長 出足が鈍いと感じている。情報発信をより強化していきたい。今後は、町民が楽しみながらポイントを集め、地域活性化につなげたい。具体的内容は町のポイント制度プロジェクト会議で検討している。

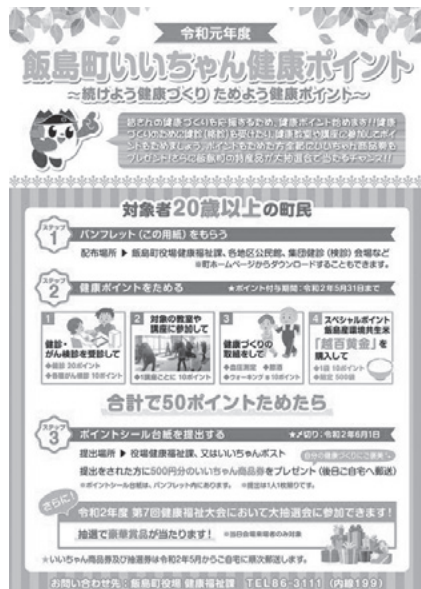
問 ポイントは、防災訓練・植栽ボランティア活動など、各課の事業でも付与できるのでは。

町長のリーダーシップでスピードある推進を求めるが。

町長 「健康ポイント」と銘打っている、その範囲をなかなか

脱し切れない。

「地域ポイント」なら、住民のまちづくり増進ツールにできる。各課の想像力・実行力に期待する。



スピードある推進を!

ロタワクチン 予防接種費補助

問 国の制度は、2020年8月以降に生まれたゼロ歳児は接種が原則無料。それ以前に生まれた乳児は自己負担となる。

任意接種の費用は、総額2～3万円。町補助で感染抑制を図るべきでは。

健康福祉課長 国に先行して実施する考えはない。副作用などの点でその方が安全であると考えている。

多胎育児支援の充実

問 多胎児の育児では、母親の心身負担が重く虐待リスクも高い。保健師の訪問相談は定期的に行っているか。

健康福祉課長 退院後早い時期に連絡を取り、訪問している。

医療機関や、地域サービスの

紹介・子育て支援センターと連携している。

教育長 ファミリーサポートを気軽に相談できる体制や周知に努めていく。

学力強化・ICT活用

問 学力の実態は。

教育長 小学校は2校とも人数が少ないため1人の影響が大きいので年によって変動がある。

中学は通常の山型となっており、全国レベルを上回っている。

問 ICTの活用や、都市部との学習環境格差対策は。

教育長 教職員が本来の授業を中心とした計画を立てられるよう配慮していきたい。

問 英語の苦手な児童へのフォロー体制は。

教育長 今年度プロジェクトチームを立ち上げ、カリキュラムの充実や、担任教師の英語力を高める研修に取り組む。

問 小中学校のタブレットの生徒分導入と、6年生用に電子黒板の設置は。

教育長 数年で文科省の基準どおり導入・設置する予定だ。

そのほか

「学校と家庭間のインターネット環境と活用実態は」を質しました。

〔以上5件質問〕

音楽村構想

進捗状況は

2社は操業に向け順調 町長



竹沢 秀幸

問 フルート・ファゴット製造工場の進捗状況は。

町長 フルート製造会社は、用地造成工事が年内に完了。その後、工場建設。

ファゴット製造会社は、旧飯島診療所を取得し改築・操業準備中である。

問 この2社の連携は。

町長 2社は面識があり、まち文化の熟成・向上に協力してもらいたい。

問 3社目の楽器製造会社の招致は。

産業振興課長 ハーモニカ・アコーディオン製造会社に打診している。

ほかに弦楽器や打楽器メーカーなどを想定している。

問 町民参加型の音楽村構想を求めるが。

町長 音楽は発表の機会が必要。

これが地域文化の向上につながる。質向上やこれら企業と世界的プレーヤーのつながりを期待する。

これがファゴット
(別名バスーン)

与田切川左岸管理道

問 左岸管理道の進捗状況は。

建設水道課長 坊主平から中央道の高架橋まで延長1100m。幅員4m。今年度設計と一部工事着手。工期は3～4年の予定。

問 町が整備したマウンテンバイクの活用は。

地域創造課長 千人塚公園周辺へのコース検討を始めており、与田切川の管理道を含めてイベント活用など考える。

町長 与田切公園の観光ツールとしても活用する。



活用を待っているマウンテンバイク

おたすけたい

いいじま御助隊

問 「いいじま御助隊」をどう組織するのか。

町長 まちづくりのために自発的に立ち上がっていただく。

草刈隊やレディースファーマーを例に、何人かのグループで地域の景観を守っていくなどの活動を期待する。

小学校の運動会
開催時期

問 熱中症対策として、七久保小学校は秋に運動会を開催した。

今後の開催時期は。

教育長 今年度七久保小学校は、音楽会と入れ替えたが保護者からの反対意見はなかった。

来年度も地域や保護者と協議調整し教育委員会で議論し決めたい。

〔以上4件質問〕



折山 誠

2期目の 基本施策

住民協働で公約実現 町長

再選されどう向き合う

問 1期目のまちづくりの基本的な姿勢は、町民が立ち上がること・町民の力で成すこと・行政は「方向を示し、きっかけづくりとサポート」に力を注ぐことが一貫した姿勢であった。

今回の選挙結果は、その姿勢を評価されたものか。

町長 評価され、付託を受けたものと受け止め、住民協働による公約実現に向けて取り組む。

問 住民の声は、自治会組織の「行政の末端的な役割」から「地域互助・共助の基盤的な役割」へ移行を求めているが。

町長 自治会の役員負担軽減に努めなければならない。また、地域互助・共助の在り方を自治会でも検討してほしい。

問 町長のリニア開通に寄せる期待が大きいと感じる。

工事残土処理地が確定しなければ開通は見込めない。

JRから受け入れ要請を受けた地区があるが、町は今後どのように対応するのか。

町長 処理地確保は、県が窓口となり進めている。もろ手を上げて、残土受け入れに賛成する地区があれば、町として支援する。

問 七久保診療所の医師住宅を除く部分が、閉所以来使用されないまま今日にいたっており、建物の劣化を心配する住民がいる。

待合室の住民開放など、有効利用を求めるが。

町長 医療体制充実に向けた利用を含め、慎重に検討する。

問 米俵マラソン参加賞の米俵に「信州飯島町米俵マラソン」の木札を住民協働で作製し、PRに活用するよう提案するが。

産業振興課長 実行委員会と協

議し、プレート作製と会への提供を検討する。

問 静岡県掛川市では、生涯学習を協働のまちづくりの原動力としている。

町長公約の「御助隊」に似た活動を、地区ごとの互助・共助で主体的に進めている。

学ぶべきでは。

町長 私の目指すまちづくりであり、参考にして町独自の取り組みを進めたい。

自治会でも望ましい在り方を共に考えていただきたい。

七小小学童クラブ 環境整備

問 七久保小学校の学童クラブの利用者が増加しており、放課後の子どもたちの居場所として、町の施策が大変効果を上げている。しかしクラブ室が狭く改善を求める声があるが。

町長 利用者増により手狭になった。本年度から図書室を開放している。手狭となっているクラブ室は、支障となっている棚の撤去費用の予算確保に努める。

〔以上2件質問〕



自治会の協働作業

飯島駅前
スーパー

存続するための方策は

住民の利用が重要 町長



坂本 紀子

問 店舗はJA上伊那から賃借しているが耐震がなく、調理室・冷凍・冷蔵庫も古かった。経営者は何回も改修するよう要望したが改善されず、閉店する事となった。

その後、近隣住民から『何とかして欲しい』と町に要請があり、町は改修費3960万円をJAへ交付し、JAはレジの更新費用約550万円を負担することで店が再開できた。

町が補助をするのだから、今までの経営分析をし、利用者も経営者も満足できる店になって欲しい。状況は。

町長 経営状況は良い。利用者を1番に考える経営をして欲しい。

町の食を守ることや会合・宴会と利用が多く、閉店は町の痛手となるので、町民救済と捉えて交付した。

宅配業務を拡大し、買い物弱者対策もするので期待したい。

問 JAカードやいいちゃんカードは使えるのか。

産業振興課長 キャッシュレスやポイントも考えていく。

問 第5次総合計画の住民意識調査で、多くの人が大きなスーパーが欲しいと意見がある。

住民には「商品を買って店を残す」意識がない。

この乖離をどう埋めるのか。

町長 今回、住民が考える機会

を与えてもらった。出来る限り、地元の店を利用してもらいたい。

問 今後を見据え、消費者が株主となり運営する「生活クラブ」のような、共同購入に取り組む考えは。

町長 1つの手段だと思うが、まずは町民に地元スーパーをしっかりと利用してもらい、町は商工会と連携して対応したい。

問 飯島駅周辺は空き地が出来つつある。何が原因か。

地域創造課長 人口減少や少子高齢化が進んだこと、また後継者となる子どもが都会から戻って来ない。

問 商業者は、借地料が高い・後継者不足・インボイス制度が始まるなど、厳しい状況が見込まれる。

今後どう対応していくか。

町長 まずは個々の経営努力。その他は行政や商工会で支援。

産業振興課長 平成27年創設した後継者支援補助金で、今までに17件の利用があった。

新たな支援策は月1回の商工会



しっかり買ってね！

との会議で協議したい。

問 商工会が商業者へ積極的な支援をするよう求めるが。

町長 買い物は、電車時代は駅前商店街で、その後は車社会となり郊外のショッピングセンターで、今はネットでも買える。

商業の大改革の中、商工会だけでなく、みんなで考えていきたい。

問 まちの駅の利用状況はどうか。

地域創造課長 平成28年度約15000人・平成30年度約20000人。利用者が多い順に月・火・金・土・日曜で、平日の午後は小中学生、土・日の午後は大人。

問 駅周辺のビジョンを持っているか。

地域創造課長 ない。今後、まちなか活性化協議会と協議しながら考えていきたい。

問 まちの駅周辺の活性化は。

町長 まちの駅は安全性も含めた中での施設。スーパーは買い物弱者での支援。今後、人の集まれる場所を適正規模で形成できるように、行政・商工会・地域と一緒に考えたい。

そのほか

「第6次総合計画(2021~2030)で町の姿をどのように描くか」を質しました。〔以上2件質問〕



三浦 寿美子

介護保険 制度

改正反対の意思表示を

町村会などで具申 町長

問 介護保険制度は、2017年に改正され、要支援1・2は、介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）に移行となった。

改正後の状況は。

健康福祉課長 特に要支援1・2の改正が大きい。従来の支援方法が2つに変更された。1つ目は、介護保険の認定で、予防給付として、訪問看護や福祉用具などを利用する方法。2つ目は、認定申請をせず、町の総合事業の「介護予防・生活支援サービス」又は「介護予防事業」を利用する方法。地域包

括支援センターで相談を受け、チェックリストで判断する。

「介護予防・生活支援サービス」の訪問型・通所型は、事業所を募集し実施している。

この事業は、町の単価が介護給付に比べ安いため、事業所の協力により運営している。

一般介護予防事業は、町が企画した事業を町内の事業所に委託している。

問 要支援の住民主体によるサービスである「訪問型サービスB」は提供されているか。

健康福祉課長 今は実施していない。再検討中である。

問 養成講座を開き、担いづくりをしたはずだ。

支援が必要な人がいるのではないか。

健康福祉課長 支援が必要な人はいる。現状は、近所の人のご厚意で生活している。

調査はできていない。

問 「訪問型サービスB」は、町の制度である。なぜできていないのか。

健康福祉課長 介護保険事業ではなく一般会計の事業で、利用者が増えていない。

相談窓口の機能の検討が必要と思う。また、地域の人の力を借りていかなければならないと思っている。

問 制度が活きる取り組みをすべきで、必要な人に支援が行き渡る方法の研究を求めるが。

健康福祉課長 町の単価が非常に安いために、撤退した業者もいる。支援が必要な人を把握するなどして取り組んでいく。

問 厚労省は、要介護1・2のケアプラン作成費の有料化や、生活援助を総合事業に移行する方向で検討を進めている。

国の方針どおりになった場合にどのような状況が想定されるか。

健康福祉課長 ケアプランが自己負担になると、介護が必要な人の負担増になる。生活援助の報酬単価が安くなり、事業者への影響がある。

そのためにサービスの提供が受けられないなどが予測される。

介護認定者の増大で、保険料が増えていく課題もある。

問 法案となる前に、町民の介護・暮らしを守るため、反対の意思表示をすべきでは。

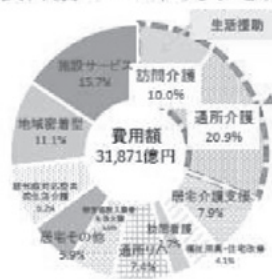
町長 国会で慎重に審議をして欲しい。町村会などを通じながら意見を具申していく。

そのほか

「町政に住民の声を生かすための取り組み」を質しました。

〔以上2件質問〕

【要介護1・2に対する介護給付】



地域支援事業に移行すべき

※ 要支援1・2における訪問介護・通所介護に係る介護予防支援は地域支援事業へ移行済み（訪問介護、通所介護以外に係る介護予防支援は、引き続き給付として実施。）

出典：財務省・財政制度等審議会資料

教育・研究 の衰退

地域の現状と対応は

教育環境の整備で 教育長

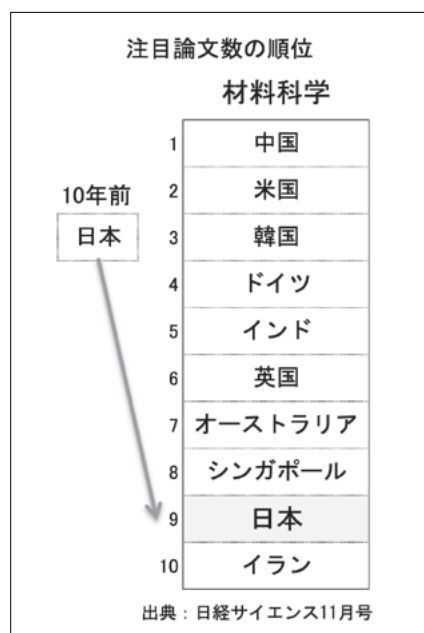


浜田 稔

問 報道では、日本だけ博士号の取得者が減り、論文の価値も急落している。所感は。

教育長 企業は基礎研究に力を入れないので、大学院に進むと就職先が狭い。更に奨学金の返済は重くなる。

博士課程に進むことをためらう雰囲気が、上伊那出身学生全体にある。



価値が下がった日本の論文

問 15歳を対象とした世界学力調査で、日本の読解力が15位に急落したことが大きく伝えられた。初中等教育でも深刻な事態が進んでいるのではないか。

教育長 以前も学力低下が問題にされ、ゆとり教育をやめて改善したとの分析であった。

その結果教科書は厚くなり、授業も過密になったと思う。

しかし、ゆとり世代を教えた私の経験では、全体に理解力のある子が多かった。

AIの時代に求められるのは長文の読解力だと思うが、今は低下している印象だ。来年分析テストを計画している。

問 教育に対する日本の公的支出は、先進36カ国中最下位で、不足分を家計が補っている。その結果、経済力が学力格差に直結する。

また、日本は多人数学級で大量の知識を一方向的に注入する授業だ。欧米では少人数学級による提案や討論が中心だ。

日本の教育行政は予算が少ない上、ガラパゴス化しているのではないか。

教育長 飯島では小学校が小さくなったため理科専科の先生がいなくなり、実験器具も自治体負担が伴うので充実できない。どうしても注入型の授業になっ

てしまう。

基礎学力がない子は討論型の授業で「お客さん」になってしまいがちだ。教育環境の整備が必要だ。

県立高の募集定員削減

問 県教委は辰野高と弥生高の募集定員を各1学級ずつ削減する。影響は。

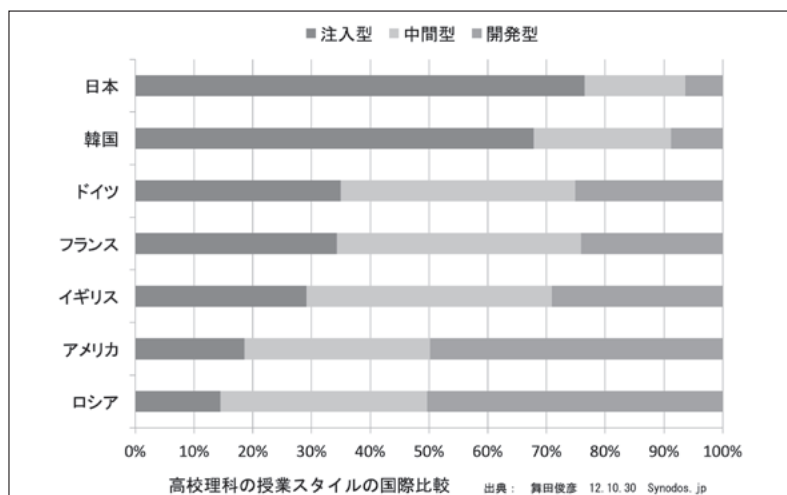
教育長 町では私立と県立の併願受験をほとんどしないので、選択が難しくなる。

教員の変形労働制

問 季節を決めての10時間労働制が国会で成立したが、運用への考えは。

教育長 職員の勤務時間が増え、休みづらくなるようではいけない。規則を定めて運用したい。

〔以上3件質問〕



日本は多人数・注入型教育



好村 拓洋

町民アンケート

結果をどう考えるか
意見を集約して
方向性を出す
町長

問 第5次総合計画のアンケート結果にある「リニア中央新幹線に求めるもの」では、若年層と高齢層では求める期待が違う。

- ・40代までの若年層では、都市部への利便性への期待。
- ・50代以降では、利便性の期待が低くなっている。

この結果をどう捉え、政策につなげるのか。

町長 若者は、自身の交通の利便性に期待していると考えます。

高齢層は、行動力というより受身に近いと感じています。

共通政策として、2次交通の強化を国・県・関係市町村と協

力し、交流人口を増やしたい。

問 「人口問題に関するアンケート」も同様に、年齢別で全く異なった結果となった。

- ・若年層では、1位に暮らし方を見直すことを挙げている。
- ・70代以上の高齢層では、人口増を期待している。

今現役の世代と、高齢世代の暮らしてきた時代背景の違いと考えるが。

町長 人口問題は最終的には結果だと考えている。

行政が携わってやらなければならないのは「まちの魅力」を増すことだ。安心して暮らせる生活基盤・経済基盤の両方を整えて、出ていった人が戻ってくるようにしたい。

高齢層は、人口が減るとお店の閉店や、国の交付金減を心配している。

問 地域活動に関する「10年後も今までどおりの活動が続けられると思うか」の問いでは、「思う」と答えている人はわずか14%だ。また「今が乗り切れればそれでよい」と答えた人は50%となっている。

結果から「変化したくない」「今がよければそれでいい」のかと感じるが、どう捉えるか。

町長 課題の1つとして捉えている。第6次総合計画につなげるためにアンケートを実施したので、各地区の意見・感想を集約し、方向性を出していく。

企画政策課長 地域活動において、今後どのような問題が起こりえるかを探る質問であった。

続けられる人が14%ということで「このままでは培ってきた地域のさまざまな機能が失われ

る」ということが読み取れる。

現況がわかったことに意義があり、10年後に向けてみんなで知恵を出し合い、より良い方向へ導けるチャンスと捉えたい。

問 この問いでも現役世代と高齢層では結果に相当な開きがある。どう捉えているか。

企画政策課長 高齢層は、「将来」よりも「今」を大事にしていると感じている。

問 地域活動に参加したくても仕事などで忙しく、余裕がないと読みとれる。

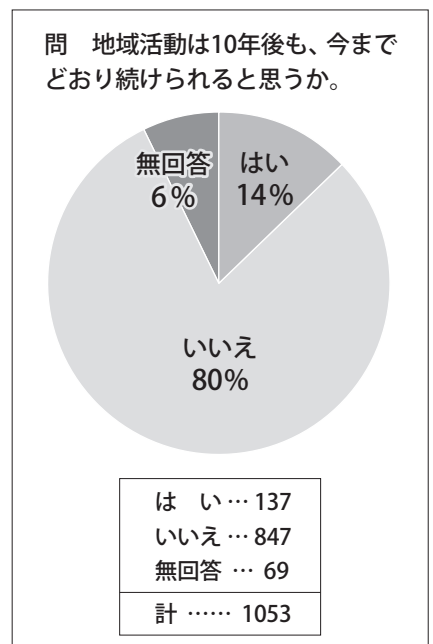
第6次総合計画に向けてどのように取り組むか。

企画政策課長 地域に負担をかけているところは見直しを行っていく。

町長 行政改革の部分でも重く受け止めている。簡素化とともに、人とのつながりを大事にする地域の連携を深めていきたい。

〔以上1件質問〕

アンケート結果より



暮らし方の「進化」を!

公共 施設用地

次世代負担軽減のため取得を

地権者の理解が必要 町長



本 多 昇

問 公共施設用地の賃借料の施設数・地権者数・面積は。

企画政策課長 26施設・地権者数44名・面積53,810㎡。

問 賃借料の年間支払額と現在までの総支払額は。

企画政策課長 年間支払額1742万円、支払総額5億4900万円。

問 少子高齢化と人口減少が続くので次世代への負担をできる限り軽減させるべきだ。

将来の財政負担を考えた時、公共施設等整備基金を活用して、用地取得を視野に入れていくべきと考えるが。

町長 将来負担を軽減するに有効なもの判断できれば、取得のための交渉を重ね所有者の理解を得るように努める。

国民健康保険税

問 県内の国保運営方針である保険料水準の統一(3方式・料率の一本化)を段階的に目指すため、4月より資産割の税率を引き下げる改正が行われ、資産割額が半額となった。

県内で国保税率を引き下げたのは、飯島・高森・売木・小布施の4町村、引き上げたのは4市村・据え置きが69市町村。

低所得者のため、資産割は早急に廃止し、3方式に変更すべきだが。

町長 国保税率及び方式は、今後県から示される保険料率などをもとに、国民健康保険事業の運営に関する協議会において検討する。

問 資産割を除けば、保険料を維持するために所得割の税率は上がるが、低所得者の被保険者には有利になる。

資産割減少分は所得割が増加するが、税率をできるだけ抑え基金を活用して、町が先行して3方式に変えていく事を望むが。

町長 協議会が毎年熱心に検討している。まずは、その方々と相談する過程を通したい。

防犯灯設置費用

問 町の防犯灯設置数は。

総務課長 飯島区424・田切区203・本郷区117・七久保区397・町管理48の合計1189カ所。

問 設置費用は、町と自治会が約折半。

管理費用と修理代はすべて自治会負担。

安全に夜道を歩けるよう町が整備するのが当たり前である。

自治会は、住民への負担を減らそうと自治会費を減額する努力をしている。修理代は重い負担だ。

設置費用と修理代は町が全額負担すべきだ。

町長 慣習の中で対応がされてきた。

いろいろな状況を精査し、時代時代に対応できるよう検討する。

〔以上3件質問〕



10年保証が終わる防犯灯

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆様取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は「はあとめいくmama」^{いりた のりこ}入田典子さんに登場していただきます。

～ 個 ☆ 楽しむこと・巻き込むこと ～

「はあとめいくmama」は、スタートから15年経ちました。

最初は、公民館活動の「保育園の入園グッズ教室」として始まり、洋裁好きなお母さんたちが集まりサークル化しました。

月2日の平日、子どもを遊ばせながら、子供服・編み物・パッチワーク等それぞれ作品作りをしました。今は、仕事を始める人もいて、みんなで集まることができず各々の製作になっています（笑）

そんな状況ですが、活動の



メインは「いいちゃん文化祭」で、10数年参加しています。

文化祭での最初の体験教室は、キャンディーブローチづくりで、子どもたちがたどたどしい手つきでフェルトをくるくる巻き、チュールにくるみ、出来上がった時の笑顔の可愛さ。胸元やバックに付け喜んでくれ、それから毎年子どもたちはもちろん、サークルメンバーも楽しみながらやってくる事ができました。

世の中物が溢れているし、お金をせばいくらでも体験はできます。でも、文化祭で展示してある写真・絵画・習字等多くの作品を見て、やりたいことを見つけるきっかけになればよいと思います。

今年は、飯中の3年2組の生徒さんにもお手伝いしていただき、普段中学生との関わりがない子どもたちも、教えてもらったり触れ合う時間ができ良かったです。

来年も、普段できない体験

もプラスして、文化祭以外にも新しい団体・人との横のつながりを作っていけたらと思います。

もし自分の趣味・特技を誰かに教えたいとか一緒にやりたい方がいたらご連絡ください。

今は忙しくても生活環境は少しずつ変化します。『できないときは無理しない』『メンバーはみんな理解しながら楽しいことを作り出す』として、みんなを巻き込みながらこれからも活動していきたいと思っています。

町や議会に望むこと

多くの団体活動・イベントが文化館で行われているが、以前より足が遠のいている気がします。

駐車場から遠いことや、使用料の見直しなど、多くの方が手軽に利用できるようにして欲しいです。

議会だより

クイズ

問題

まちづくりは〇〇づくり

ヒントは
10ページに

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈
(締切は2/29、発表は発送をもってかえさせていただきます)



応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

編集後記

「初春に 伸びる新芽の 庭つつじ」
地球温暖化をどう思いますか？

議会報モニター募集中です！

発行責任者 議長 堀内克美

編集委員 ◎滝本 ○好村

三浦・久保島・坂本・本多